

事業所名

放課後等デイサービス事業所
チャイルドハウスひなたぼっこ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

12 月

25 日

法人（事業所）理念		1. ひなたぼっこでは、スタッフ一同お子様の障がいや特性に合った関わり方や、成長の目的をもって、子育てに悩んでいるお母さんやそのお子様が安心して過ごせる時間、ホッと一息つける場所を提供します。 たぼっこでの活動を通して、「できる、できた」という体験を実感する事、「楽しい、もっとやってみよう」という気持ちや意欲を育む事を大切にします。 ぼっこでは、「頑張っ！」ではなく、「一緒に考えよう、一緒に一歩踏み出す方法を見つけよう」を基本の方針と考えるので、決して無理強いはしません。お母様、子ども達、スタッフ全員の心が温かくなって、笑顔と笑い声の響く楽しい時間を共有できる場所づくりを目指します。 4. ひなたぼっこでは、お子様一人ひとりと関わる中で個々の特性や個性を見だし、それを生かすことで新しい価値を創造し、もっと地域社会に参加することを支援するために活動します。						2. ひな 3. ひな		
支援方針		個々の特性を理解した上で、個々の能力を引き出し、伸ばしていくことを目指しています。そのためにも日々の支援活動に、様々な分野の活動プログラムを取り入れて、子ども達にいろいろな体験や経験をする機会を提供します。「障がいがあるからできない」ではなく、「障がいがあってもできる」「特性を活かせば素晴らしい能力が発揮できる」ことを体験を通して知り、自信を持って社会へ自立していくためのサポートができるようにします。								
営業時間		平日 休日	13 9	時 0 0	分から	18 18	時 0 0	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	・ 基本的な生活習慣・生活のリズム・健康維持を身に付けるサポート（維持・改善）を行います。【挨拶・手洗い（うがい、消毒）・排泄・持ち物の整理整頓・片付けなど】 ・ 本人の様子を観察し、必要に応じて保護者や学校等と情報交換し、安心して友だちやスタッフと楽しい時間を共有できるようサポートします。								
	運動・感覚	・ 活動時の正しい姿勢の保持を個別の椅子などを利用してサポートします。（創作活動や個別活動時に一定時間着席をして集中して課題に取り組める物を設定します） ・ 学校の長期休業や土曜日の活動時にダンスや音楽セッション、トランポリンなどの運動プログラムを取り入れて、リズム感や体力作りをサポートします。								
	認知・行動	・ 絵カードを使って個別のスケジュールをスタッフと一緒に立て、タイマーなどで時間を意識してスケジュールボードを見ながら自ら行動することをサポートします。 ・ 小集団での活動の中で、友だちと一緒に活動するなど適切な行動が習得できるようサポートします。（集団活動な苦手だったり、直ぐに入れなかったりする時は、必要に応じてイヤーマフを着けたり、個々の感覚特性に配慮した環境を作ったりして、少しずつ集団活動へ慣れることから始めます）								
	言語 コミュニケーション	・ 挨拶や場面に合った言葉遣い、人との相互作用によるコミュニケーション能力を高めます。出来るだけ言葉で自分のやりたいことを伝えたり、手伝って欲しい時に援助を求めたりなど、生活に必要な行動を適切な場で発揮できるよう支援します。【コミュニケーション手段（SST・発表する機会の提供・個別にはコミック会話など）の活用】 ・ 集団活動の中で、「入れて」「貸して」が言え、相手の「いいよ」又は「今、使ってるから待って」などの会話のキャッチボールをスタッフが間でサポートしながらスムーズにできるようにします。								
	人間関係 社会性	・ 小集団活動や友だち、スタッフとの遊びや活動などの関わりを通して、順番を守る、友だちと協力する、決められたルールを守る、失敗や負けることがあることを受け入れるなどの、他者と一緒に生活をしていくために必要なスキルを身に付ける機会を作り、その都度、対処の方法をサポートします。 ・ 活動プログラムに公共施設（消防署や警察署など）や工場見学（栽培センターやお菓子など）などを取り入れ、事業所以外の場所でいろいろな関わりを持つ中で、社会的マナーを学ぶ機会を作ります。								
家族支援		・ ご利用前にひなたぼっこでの活動を見学したり、体験したりすることができます。 ・ 日々の活動の様子は、送迎時に直接話したり、連絡帳にてお知らせしたりして、常に連携をとっています。 ・ お母様（ご家族）の子育て不安や心配事については、常に寄り添い、カウンセリングの時間を設けて、心の軽減のお手伝いをしています。				移行支援		・ 必要に応じて、学校でのお子さんの様子を見学したり、他事業者での様子を伺ったりして、相談支援員を通して学校や他事業者等と情報共有したり、支援について共通理解を深めたりします。		
地域支援・地域連携		・ 相談支援事業所と常に連携をとりながら、必要時に学校や行政、関連事業所等と会議を設けて頂き課題解決に向けての努力をしています。 ・ 市民活動ネットワークやユネスコ等に所属し、障がいについての理解を深める努力や市の行事等に積極的に参加するようにしています。				職員の質の向上		・ 毎月定期的にミーティングや社内研修を開催し、個々に合った効果的な支援について具体的に話し合ったり、支援の中での困り感を出し合ったりして、障がいへの理解を深めながら実践へのスキルアップを図っています。 ・ スポーツ・音楽・創作活動などについては、スタッフも技術を磨いたり、コミュニケーション能力を高めたりするための社外研修等を積極的に進めています。		
主な行事等		・ 長期休業【春休み】卒業式、お花見、遠出のお出かけ、消防署見学（防災訓練を兼ねて）【夏休み】丸太村での木工体験、夏祭り、ソーメン流し、プール、お出かけ、創作活動、クッキング等【冬休み】クッキング、初詣、凧作り・凧あげ ・ 月2回の土曜日は、1回が室内活動（創作活動・クッキングなど）1回が外活動（近隣公園や里山、海など） ・ 防災・避難訓練（9月、12月、3月）・ 親子活動（年2回）10月；ふれあいの森で野外クッキング、アスレチック 12月；クリスマス会 ・ 座談会；年2回 その他、講師に頼んでの創作活動やダンス教室、誕生会								